

ジブリパークのこれまでの経緯

日 付	事 項
2005（平成17）年	愛知万博において「サツキとメイの家」を再現。その後、万博のレガシーとして愛・地球博記念公園に継承
2015（平成27）年 9月12日～11月8日	万博10周年の第32回全国都市緑化あいちフェアにおいて「ジブリの大博覧会」を開催（入場者192,359人） ※ 「ジブリの大博覧会展」と「思い出のマーニー×種田陽平展」で構成
2017（平成29）年 5月31日	愛・地球博記念公園に愛知万博の理念を次世代に継承するため、「ジブリパーク」を整備する構想について、(株)スタジオジブリと合意
2018（平成30）年 3月30日	愛知県と(株)スタジオジブリにおいて、ジブリパーク構想の概要、開業目標時期、役割分担に関する確認書を締結
2018（平成30）年 4月25日	ジブリパーク構想の核となる「基本デザイン」を発表
2018（平成30）年 12月21日	基本構想の中間的なとりまとめとして「ジブリパーク整備構想の概要」を発表
2019（令和元）年 5月31日	県、(株)スタジオジブリ、(株)中日新聞社の三者において、ジブリパークの整備並びに管理運営に関する「基本合意書」を締結
2019（令和元）年 7月3日	「青春の丘エリア」、「ジブリの大倉庫エリア」及び「どんどこ森エリア」の実施設計を進めていくに当たり、2014年の「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の一部改正により制度化されたECI方式※を、愛知県事業として初めて採用することを発表
2019（令和元）年 10月2日	「鹿島建設株式会社中部支店」をECIに係る優先交渉権者として選定し、技術協力業務契約を締結
2019（令和元）年 11月1日	2019年5月31日締結の基本合意書に基づき、(株)中日新聞社と(株)スタジオジブリが共同でジブリパークの管理運営を目的とする運営会社「株式会社ジブリパーク」を設立

※ 「ECI方式」とは、当該公共工事の性格等により当該工事の仕様の確定が困難である場合に、実施設計の段階から施工者（建設会社）が有する専門的な知見や特別な施工技術・ノウハウを「技術協力」として設計に反映させ、最適な仕様を確定するとともに、事前に設計照査や工事準備の検討を行うことができる制度。